



Microsoft 365 カタログ

中堅・中小企業はクラウドの時代へ

これからは、オフィス勤務と リモートワークを組み合わせた 「ハイブリッドワーク」が主流に



これからの働き方として、オフィスワークとリモートワークを併用した「ハイブリッドワーク」に注目が集まっています。これは、自宅やサテライトオフィスなど社外から働くリモートワークと、出社して働くオフィスワーク、両方のメリットを取り入れ、従業員が働く場所を選択できる働き方です。オフィスでチームが直接会話しながらプロジェクトを進めるほうが良い場面や、事務作業や資料作成など自宅のほうが集中できる場合など、業務内容やシチュエーションに応じて働く場所を選択することで、より業務を効率化し、生産性の向上を図る取り組みです。ハイブリッドワークを取り入れ柔軟な働き方を提供することは、優秀な人材の確保や従業員エンゲージメントの向上につながり、その結果、企業の業績にもいい影響を与えられと考えています。



オフィス+リモート=ハイブリッド型

ハイブリッドワークのメリット

従業員のリスクを軽減

出社人数を制限、社内の蜜や、出勤時の感染リスクを避けた形で業務を継続することが可能になります。

生産性の向上

外出先や移動中でも迅速な顧客対応を実現。移動時間を削減し、業務の稼働効率が上がります。

コスト削減

在宅勤務の割合が増えることで、印刷や通勤費用など、オフィス業務、出勤にかかる諸経費などコストを削減することができます。

BCP 対策

普段からリモートワークを取り入れていることで、自然災害などの緊急事態が発生しても、在宅で業務を続行、事業を継続することができます。

新規雇用・離職防止

柔軟な働き方を求める優秀な人材の獲得につながります。また、リモートワークができることで、育児などが必要な女性の離職率を抑えることができます。

ワークライフバランスの向上

通勤に必要な時間を自己研鑽や健康管理、家族との時間に使うことができ、社員のワークライフバランスが向上します。

柔軟でハイブリッドな働き方を可能にする Microsoft 365

ハイブリッドワークを実現するためには、オフィスはもちろん、社外でも高いパフォーマンスで働ける環境が必要です。そのカギとなるのがクラウドへの移行です。クラウドの Microsoft 365 は、いつでも最新の Office アプリケーションが使えることはもちろん、スケジュール管理やファイル共有、Web 会議やチャットなど、さまざまなソリューションを統合的に提供するクラウド サービスです。離れた社員同士をシームレスにつなぐコミュニケーション ツールやリモートワークにも安心のセキュリティ機能を備えているため、Microsoft 365 を導入することがそのまま、ハイブリッドワークへの移行につながります。

Microsoft 365 は、Office アプリケーションを含む Microsoft のクラウドソリューションを利用できるサービス

常に最新の Office アプリケーション



Exchange Online



SharePoint Online



1 TB OneDrive for Business



Microsoft Teams



Security



Microsoft 365 を利用すると、常に最新の Office アプリケーションを利用することももちろん、場所やデバイスに関係なく効率的に作業することができます。
Exchange Online によるメール・スケジュール・連絡先管理、SharePoint Online による情報・ドキュメント共有、Microsoft Teams によるチャットや Web 会議も可能。
大容量 1 TB のオンライン ストレージも標準で提供。
エンタープライズレベルのセキュリティで企業を守ります。

Microsoft 365 で変わる働き方



これまでの働き方

出社後に Outlook を立ち上げてメールを確認。昨晩からたまっているメールに返信

電話の内容をメールで他のメンバーに共有

客先についてから、プレゼン資料が古いデータと判明。社内データにアクセスできないため、そのまま古い資料でお客様への説明を行う

お客様からの不明な質問には「いったん持ち帰ります」、「確認して連絡します」ばかり

帰社してから社内にある最新のプレゼン資料をお客様にメールで共有

オンプレミス版の Office からクラウドの Microsoft 365 へ

オンプレミス版 Office



オンプレミス版の Office とは、PC に最初から Office がインストールされているプレインストール版 (PIPC) やパッケージ版、ボリュームライセンスで購入した Office 製品のことです。

利用できるのは、Word や Excel、PowerPoint などの基本的な Office アプリケーションに限られます。買い切り製品のため Office のバージョンアップデートに対応していないことから、コストや生産性、管理やセキュリティの面で課題があります。

オンプレミス版 Office の課題

<p>初期コストが大きい</p> <p>製品版の Office ソフトウェアの購入には大きな初期コストが必要。バージョンのアップグレードもできないため、サポート終了などで Office を入れ替える場合、新規購入と同等の初期費用が必要になる。</p>	<p>バージョン管理、ライセンス管理が面倒</p> <p>社員のバージョン管理、ライセンス管理が面倒。購入タイミングによって、社員ごとにバージョンが異なるため、ファイルの互換性に関する問題がおきたり、社員が多くなるほどプロダクトキーの管理が面倒になる。</p>	<p>情報共有が難しい</p> <p>誰かにファイルをシェアしたり、情報共有する場合はメールを利用。最新の情報を共有するたびにメールを送る手間と、どのファイルが最新のものなのか、わからなくなってしまう。</p>	<p>複数のデバイスで利用できない</p> <p>PC にプレインストールされている Office の場合は、その PC でしか Office アプリケーションが利用できない。ボリュームライセンスでも使えるのは最大 2 台のみ。ノート PC や 2 in 1、スマートフォンやタブレットなど、デバイスの多様化に対応できない。</p>
<p>PC のストレージが足りない</p> <p>作成したファイルをローカルに保存するため PC のストレージが圧迫される。ストレージの圧迫は、PC の動作が重くなる原因となる。</p>	<p>使う場所が限定される</p> <p>外出先から社内の共有にあるファイルにアクセスや共有ができない。必要なファイルにアクセスするためにはオフィスに出勤する必要がある。テレワークにむかない。</p>	<p>PC の故障でデータも失う</p> <p>PC の故障や紛失をした場合、データをローカルにのみ保存している場合、すべての情報を失う危険性が高い。大事なファイルや情報の損失は、ビジネスに大きな損失をあたえる可能性がある。</p>	<p>セキュリティが不安</p> <p>自社で使っているオンプレミスの環境が安全という保証はない。オンプレミスがクラウドよりも脆弱というケースは多く、オンプレミスのデータセンターからの情報漏洩事件の方が圧倒的に多い。</p>

クラウドの Microsoft 365



最新の Office アプリケーションに加え、Microsoft Teams やグループウェアなど、さまざまなソリューションがクラウドで提供される、統合型クラウドサービスです。

Microsoft 365 を活用することで、遠隔で働く社員のコミュニケーションを高め、業務のデジタル化による生産性向上を促進します。リモートワークに必要なセキュリティと IT 管理を備え、オフィスでもリモートワークでも安心して働けるハイブリッドな環境を構築できます。

オンプレミスの課題を解決! クラウドの Microsoft 365

<p>初期コスト軽減、低コストで導入可能</p> <p>月額料金で利用できるため、今までのように一括購入する必要はありません。初期コストを大幅に削減できます。</p>	<p>バージョン管理や更新管理が不要</p> <p>常に最新の Office に自動で更新されるため、バージョン管理の手間が削減されます。利用している Office のバージョン違いも起きません。</p>	<p>大容量 1 TB オンラインストレージ付き</p> <p>大容量のクラウドストレージを利用すれば、PC のストレージを圧迫することなく、ファイルの容量を気にする必要がありません。</p>	<p>計上可能なクラウドのサービス使用料</p> <p>サービスの利用部分を費用計上できるため、オンプレミス版のように固定資産税がかかりません。</p>
<p>自宅からも出張先からも、どこからでもファイルへアクセス</p> <p>OneDrive のクラウドストレージに保存したファイルには、どこからでも、どのデバイスからでも安全にアクセスできます。</p>	<p>1ライセンスで最大 15 台、マルチデバイス使用が可能</p> <p>1ライセンスで最大 15 台まで利用可能。PC、Mac、スマートフォン、タブレットなどマルチデバイスで利用できます。</p>	<p>グループウェアを活用し生産性向上、働き方改革を実現</p> <p>Microsoft Teams やグループウェアで業務効率や情報の活用、共有が活性化。コミュニケーションの量も質も向上します。</p>	<p>さまざまな脅威からユーザーを守る</p> <p>Microsoft 365 は外部からの攻撃やデータ漏洩について十分な対策があり、大企業レベルのセキュリティを提供します。</p>

Microsoft 365 のソリューション

常に最新バージョンの Office アプリケーションが利用できるため、バージョン管理の手間は不要です。Office だけではなく、Web 会議やチャット、資料の共有も行えるコラボレーションツール「Microsoft Teams」や、メールやスケジュール管理、組織内の情報を一元的に管理し共有も行えるグループウェアなど、さまざまなソリューションが活用できます。



Office アプリケーション

常に最新バージョンの Office アプリケーションが使える!

Word や Excel、PowerPoint など、ビジネスに欠かせない Office アプリケーションが、常に最新バージョンで利用することができます。バージョン管理の工数を大幅に削減、サポート終了による入れ替えや更新作業も不要です。日々更新される Office の最新機能を活用することで、業務の効率化、生産性が高まります。



常に最新バージョンの Office アプリケーションを、1 ユーザーにつき PC 5 台、スマートフォン 5 台、タブレット 5 台までインストールして利用できます。社外での利用はもちろん、移動中でもタブレットやスマートフォンからファイルの閲覧、編集ができます。AI を活用したインテリジェントな最新機能を活用することで、資料作成やデータ入力などの業務をより生産的に行うことができます。

AI を活用したインテリジェンス機能

画像からデータを挿入

AI を活用した画像認識機能により、手書きの書類などをスマホのカメラで撮影するだけで、スプレッドシート上に情報を入力することができるようになります。

AI による分析機能

大量なデータも、AI によるデータ分析機能により、ワンクリックでデータの大きな傾向を可視化。

音声同時翻訳

ドキュメントもメールも瞬時に翻訳。パワーポイントの音声字幕翻訳機能を使えば AI が音声を同時に通訳。



AI を活用した Office の最新機能が、これからの働き方を変える

Microsoft Teams – コラボレーション プラットフォーム

会議にチャットや通話、ファイル共有や共同作業もすべて 1 か所で

離れた場所で働くチームをひとつにするコラボレーション ツールが Microsoft Teams です。スケジュール管理から参加するメンバーの予定をひと目で確認、すぐに Web 会議を設定できます。気軽にチャットで質問することで、知りたいことを素早く確認できます。固い表現になってしまうメールと違い、カジュアルでスピーディーなコミュニケーションが可能です。



OneDrive – 1 TB 大容量クラウドストレージ

ビジネス向けクラウド ストレージでファイルへのアクセス、共有も簡単!

法人向けの OneDrive を活用し、クラウド上にファイルや写真、動画データを保存することで、デバイスのハードディスク容量不足を解消することができます。ネットワークにつながっていれば、どこからでも OneDrive に保存されているファイルにアクセスが可能。ファイルの共有も簡単に行え、共有したファイルを同時編集することもできます。



クラウドストレージとは、Word や Excel、PDF などのドキュメントファイルや、写真や動画など、さまざまなデータを、インターネット上に保存できるサービスです。Microsoft 365 では、法人向けクラウドストレージ サービス OneDrive を 1 TB 利用できます。PC やタブレット、スマートフォンなどから、いつでもどこでも保存したファイルにアクセスして、閲覧や編集ができます。また、インターネット上にファイルを保存して「バックアップ」として活用することも可能です。OneDrive はモバイルアプリも用意されているので、移動中にスマートフォンからでもファイルの閲覧や、編集が可能です。ホワイトボードや、仕事関連の領収書、名刺、その他の書類を簡単に撮影して安全に保管できます。



- 大量のファイルや重いデータに対応
- PC の故障、紛失時にもデータを失わない
- セキュリティも安心
- 情報共有も容易
- いつどこからでもアクセス可能
- チームでファイルを共同編集
- A4 サイズなら約 700 万枚分が保存できる
※ Microsoft Word 標準設定 A4 サイズ文字埋めにて計測

グループウェア – 組織の業務効率化を最大限に

スケジュール管理やナレッジ共有、組織の力を最大限に高める

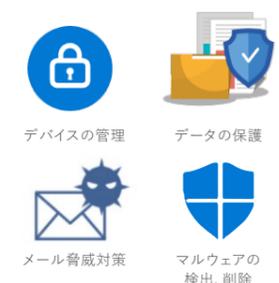
Microsoft 365 には組織の業務効率化を促進するさまざまなグループウェア ソリューションが提供されています。メールや連絡先、予定表の管理や共有、会議室の予約、組織でスケジュールを共有して、関連する社員の予定をひと目で確認することができます。全社でのファイル共有はもちろん、組織内ポータルサイトを作成しナレッジを共有、組織として知識の活用を図ることが可能です。



セキュリティ – 安心、安全なリモートワーク

中堅・中小企業にエンタープライズ レベルのセキュリティを

社内や社外のどこにいてもデータやアプリケーションに安全にアクセスし、快適に業務を行うことのできるセキュリティを Microsoft 365 は提供しています。社外から社内へのデータにアクセスするデバイスを管理、保護する「Microsoft Intune」や、データを暗号化しアクセス制御することにより、社外作業時の機密情報を保護するセキュリティ機能を搭載。標的のデバイスにマルウェアを感染させる標的型のサイバー攻撃にも対応しています。



Microsoft Teams

ハイブリッドワークを実現するコラボレーションプラットフォーム

Microsoft Teams は、チャット、Web 会議、ファイル共有などがひとつになった、人と仕事を効率的につなげるコラボレーション ツールです。チーム コラボレーションのハブとして機能し、チームワークの成果を上げるために必要な会話、コンテンツ、ツールはすべて、Teams を中心に展開できます。チャットや情報共有はもちろん、Outlook と連携し、スケジュール管理から簡単に Web 会議を設定できます。音声やビデオによる Web 会議を、組織内外を問わず開催できます。

Microsoft Teams	効果	
コミュニケーション	スレッド形式のチャット機能 Web 会議(ビデオ、音声) オンライン セミナー開催	情報共有
コラボレーション	共同作業でドキュメント作成、編集 遠隔地とデジタル ホワイトボードを活用したプレスト	生産性向上
プロジェクト管理	進捗、スケジュールなどプロジェクトの管理、共有	業務効率化



コミュニケーションが効率化する Microsoft Teams

メールに依存した非効率なコミュニケーション

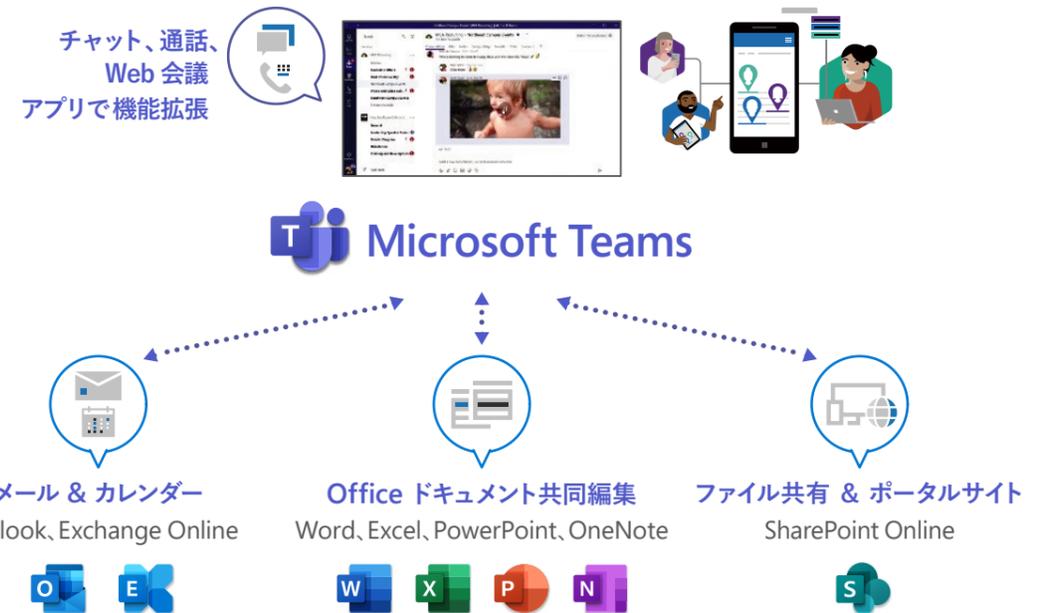
自分で分類や判断が必要 過去のやり取りを見返すのに時間がかかる 複数のアプリを切り替えて利用

チャットを中心とした効率的なコミュニケーション

自動で分類され、判断が容易 過去のやり取りを見返しやす い 複数のアプリを Teams 内で利用

メールベースのコミュニケーションは、急ぎで確認が必要なときや、カジュアルなコミュニケーションには適していません。Microsoft Teams のチャットを利用することで、メールによる非効率なやり取りを補い、離れていても迅速でカジュアルなコミュニケーションを実現します。

コラボレーション ハブ



会社の固定電話対応も Microsoft Teams で対応 社員のテレワーク推進をサポート

Microsoft Teams で会社の固定電話にかかってくる電話を受けられたり、会社の番号でかけることもできるので、「会社の固定電話番号の受電業務をテレワークでどう実現するか?」という問題を解決でき、全社員テレワークが可能になります。

さまざまなデバイスでどこからでも通話が可能
複数のコンピューター、モバイル デバイスで1つの固定電話を使用するため、遠隔でもスピーディーに顧客からの問い合わせに 대응することができます。

通話や会議をワンクリックで実現
ワンクリックで任意の電話番号へ発信できます。チャットからすぐに通話へと切り替えることも可能です。

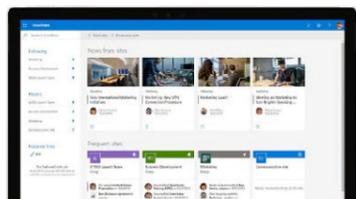
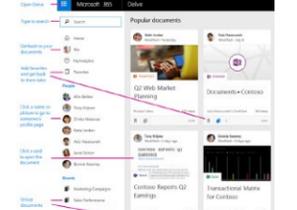
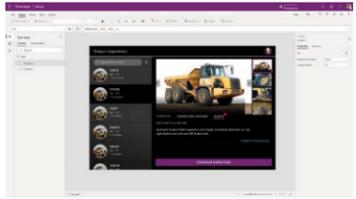
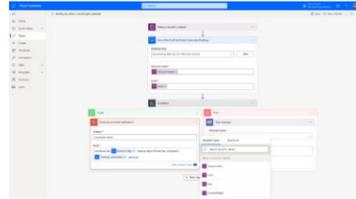
AI を活用した優れた機能
ボイスメールの自動テキスト変換や、チャットのインライン翻訳、会議用のリアルタイム字幕機能を搭載しています。

70 以上の国と地域で利用可能
日本だけでなく、世界中の国と簡単にコミュニケーションがとれます。



グループウェア機能を活用して業務効率化

Microsoft 365 には、組織的に業務効率化を図り生産性向上につながるソリューションが多く含まれています。スケジュール管理や情報共有、社内 SNS や動画配信ソリューションを活用することで、ナレッジの共有やトレーニングの効率化を実現します。

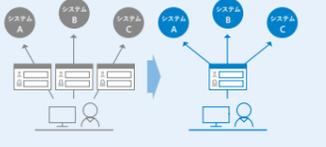
<h3>Exchange Online</h3> <p>外出先や自宅など、いつでもどこでもメールが見られる環境を実現。スケジュール管理や連絡帳も装備。企業向けのセキュリティ対策も万全です。</p> 	<h3>SharePoint Online</h3> <p>社内やチームのドキュメント保管や情報共有を効率的に行えます。強力な検索機能でファイルを探す時間も大幅に短縮できます。</p> 	<h3>Yammer</h3> <p>社内のソーシャルネットワークで、社員同士がつながり情報を共有できます。社内でアイデアや質問への回答を募ったり、ビジネスの成功例を共有します。</p> 
<h3>Forms</h3> <p>アンケートやテスト、投票などを作成して、結果を簡単かつリアルタイムで表示できます。</p> 	<h3>Stream</h3> <p>動画配信ソリューションです。授業や会議、トレーニングなどの動画を、組織内だけに共有できます。</p> 	<h3>Delve</h3> <p>SharePoint に保存や共有されている、アクセス権があるファイルから、AI がぴったりなドキュメントを自動検索します。</p> 
<h3>Planner</h3> <p>プランを作成し、タスクを整理してチームに割り当てます。ファイルを共有し、最新の進捗状況を共有できます。</p> 	<h3>Power Apps</h3> <p>プログラミングする必要が無く、PowerPoint のような直観的な操作で簡単にビジネスアプリケーションを作成できます。</p> 	<h3>Power Automate</h3> <p>アプリ、ファイル、データ間でワークフローを作成して、業務の自動化を行うことができます。</p> 

※ご契約いただいた製品により、含まれるグループウェアが異なります

中堅・中小企業の安全なリモートワークを実現する Microsoft 365 Business Premium

オフィス以外で働くリモートワークでは、多くの企業が「セキュリティ」対策を課題にしています。オフィスでは、ID カードによる入場規制や、端末のウイルス感染対策、データ管理ルールの徹底など、セキュリティを守る体制が整っていますが、オフィス以外の場所で仕事をするリモートワークは、さまざまな情報セキュリティのリスクを伴います。Microsoft 365 Business Premium は、リモートワークに強固なセキュリティをもたらすソリューションを提供しています。

Microsoft Business Premium の強固なセキュリティ機能

<h3>条件付きアクセス</h3>  <p>自宅の PC からブラウザ上でのアクセスに限定し、Office ファイルのダウンロードや保存を制限できます。急なトラブル発生に備えて、自宅 PC を利用して業務継続も可能です。</p>	<h3>多要素認証 (MFA)</h3>  <p>資格情報の紛失や盗難が原因の侵害から、組織を守るのに役立つ強力な認証機能です。どのアプリも 1 ステップで守ることができます。</p>	<h3>シングル・サインオン</h3>  <p>社内のさまざまなサーバーへのアクセスを一元的に管理が可能です。一度のログイン (サインイン) でドメインに参加しているすべてのサーバーへのアクセスが可能になり、システムごとにユーザー ID とパスワードを入力する必要がなくなります。</p>		
<h3>Windows PC とモバイルデバイスを管理コンソールから一元管理</h3>  <p>モバイルデバイスとモバイルアプリケーションの管理ソリューション。従業員がリモートワークで多様なモバイルデバイスを利用するときの管理負担を軽減し、セキュアな環境を提供します。</p>	<h3>クラウドベースの電子メールフィルタリングサービス</h3>  <p>メールに添付された未知のマルウェアやウイルス、メールやドキュメント内の有害なリンク、フィッシングメールから組織を保護する機能に加えて、多機能なレポートを利用できます。</p>	<h3>リモートデスクトップにアクセス</h3>  <p>仮想デスクトップインフラストラクチャ (VDI) の Windows Virtual Desktop は、クラウドで実行されるデスクトップおよびアプリ仮想化サービスです。安全で生産性の高いリモート作業を、スピーディに構築することができます。</p>		
<h3>ファイルやメールを暗号化して保護</h3>  <p>Office アプリケーションと統合でき、ワンクリックでファイルやメールを暗号化して保護できる情報漏えい対策機能です。</p>	<h3>訴訟対策としてすべてのメールデータを管理者側で保持</h3>  <p>大容量のメールデータを保持できるだけでなく、訴訟対策としてすべてのメールデータを管理者側で保持しておくことも可能なデータアーカイブサービスです。</p>	<h3>口座番号などの機密情報の流出を防止</h3>  <p>クレジットカード番号や銀行口座番号など、機密情報を含むメールを外部に送信しようとした際にブロックすることが可能です。</p>		
<h2>Windows 10 の標準セキュリティ機能</h2> <table border="1"> <tr> <td data-bbox="1593 1701 2166 1986"> <h3>Windows Defender ウイルス対策</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 高い法人の利用率 ● 高度な機械学習による検知 ● クラウド型保護機能で強化 </td> <td data-bbox="2166 1701 2858 1986"> <h3>Windows BitLocker</h3> <p>データを暗号化しパスワードでロックすることにより USB メモリなどの紛失時に情報漏洩のリスクを大幅に減少</p> </td> </tr> </table>			<h3>Windows Defender ウイルス対策</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 高い法人の利用率 ● 高度な機械学習による検知 ● クラウド型保護機能で強化 	<h3>Windows BitLocker</h3> <p>データを暗号化しパスワードでロックすることにより USB メモリなどの紛失時に情報漏洩のリスクを大幅に減少</p>
<h3>Windows Defender ウイルス対策</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 高い法人の利用率 ● 高度な機械学習による検知 ● クラウド型保護機能で強化 	<h3>Windows BitLocker</h3> <p>データを暗号化しパスワードでロックすることにより USB メモリなどの紛失時に情報漏洩のリスクを大幅に減少</p>			

Microsoft 365 導入事例

利用する目的や企業規模に応じたプランを提供している Microsoft 365 は、数名のスタートアップ企業から大企業まで、業種業態デジタルトランスフォーメーションの推進に向けたクラウド化や、リモートワークへの移行などを背景に、急速に導入企業が増えて

を問わずあらゆる日本国内の企業に導入、活用いただいています。オンプレミスの Office や別のクラウドサービスからの移行など、きています。ここでは、中堅・中小企業の Microsoft 365 導入事例を紹介します。

Billing System ビリングシステム株式会社

製品：Microsoft 365 Business Premium
規模：中規模（従業員数 50～999 人）

急なテレワークへの移行を、Microsoft 365 によって素早く実現。 Teams を活用した密なコミュニケーションで生産性向上

Microsoft 365 を活用することによって、突然の在宅勤務にもすばやく対応できた企業の一つがビリングシステム株式会社です。同社は、テレワークの実践によって、単に在宅勤務が可能になったのみならず、Microsoft Teams のチャットや Web 会議で連携を高めることで生産性を向上、これからの人材の有効活用についても新しい発見を得ることができたのです。



課題

- PC ごとに Office 製品のバージョンがバラバラで、ライセンスの管理が煩雑
- コロナ禍におけるテレワーク環境での業務継続
- 別れたフロアで働く社員同士による内線電話でのコミュニケーションの非効率性

導入効果

- デバイスではなくユーザーごとにライセンスが割り当てられるので、管理の煩雑さから解放
- 自宅での資料作成や、出社を午後からにするといった「働き方の選択肢」が得られた
- 簡単な業務連絡や質問はチャットで、社内会議はビデオ通話で、場所に依存しないコミュニケーションを実現

村田園 株式会社村田園

製品：Microsoft 365 Business Standard
Microsoft 365 Business Basic
規模：中規模（従業員数 50～999 人）

Microsoft 365 で社内外の情報共有を効率化し、さらなるコラボレーションをもたらす

大手ネット通販でランキング上位の健康茶を販売する株式会社村田園は、2014 年に Microsoft 365（旧称 Office 365）を導入して以降、顧客や取引先、学生、同僚といったさまざまな相手とのコミュニケーションを活性化してきました。Outlook や OneDrive、SharePoint といったツールを使い分けることによって、同社は業務効率を高め、生産性を向上させています。



課題

- パッケージ版やプレインストールされた Office は、端末ごとに更新を確認する必要があり、管理が煩雑だった
- 社内のファイルサーバーは事務所でしかアクセスできないため、社外から必要な資料を確認できない
- 繁忙期に急増する問い合わせに対する、コールセンターの情報共有や対応の効率化が必要

導入効果

- 自動的に最新バージョンに更新され、管理は月ごとのユーザー数を把握するだけで済むように
- 原料配分の試算表やパッケージデザイン案といった資料も、OneDrive に格納することで、社外からでも確認可能に
- SharePoint でポータルサイトを作成し、コールセンターのスタッフと商品情報を共有

Fringe Fringe81 株式会社

製品：Microsoft 365 Business Premium
規模：中規模（従業員数 50～999 人）

テレワーク環境下でもチームワーク強化を実現。 Microsoft Teams × Unipos を活用した、新しい「一体感」の生み出し方

Fringe81 は、同社の提供する「Unipos」と Microsoft Teams の活用によって、社内連携をよりスムーズにする仕組みを構築しました。また、Microsoft 365 の活用により、リモート環境のデバイス管理を一元化することで、セキュリティ強化と管理工数の大幅な削減を実現し、with コロナ時代の新しい働き方を確立しています。



課題

- 上場を見据えてセキュリティやガバナンスに強いクラウドに移行する必要性が生じる
- パッケージ版の Office 製品は管理が煩雑で、Excel の管理簿を更新するのに手間が生じていた
- ファイルサーバーの容量が逼迫、買い足すにはコストもかさむ状況があった

導入効果

- Azure AD (Azure Active Directory) の利用によって、セキュリティガバナンスを強化し、利便性も向上
- Microsoft 365 の導入により Office アプリケーションの管理工数はほぼゼロに
- 個々に業務で利用するファイルを 1TB の OneDrive に移行、PC の保存領域を確保

松富士食品 株式会社松富士食品

製品：Microsoft 365 Business Premium
規模：中規模（従業員数 50～999 人）

Microsoft 365 の導入で「ひとり情シス」を「攻めの情シス」に

松富士食品の事例は「システム部門を少数精鋭化する方法」を私たちに教えてくれます。同社は「ひとり情シス」でありながら、Microsoft 365 Business の導入によって、運用負荷を大きく削減させました。さらに、コミュニケーション活性化や社内教育の向上、データ活用などといった価値を提供する戦略部門への転換を果たしつつあります。



課題

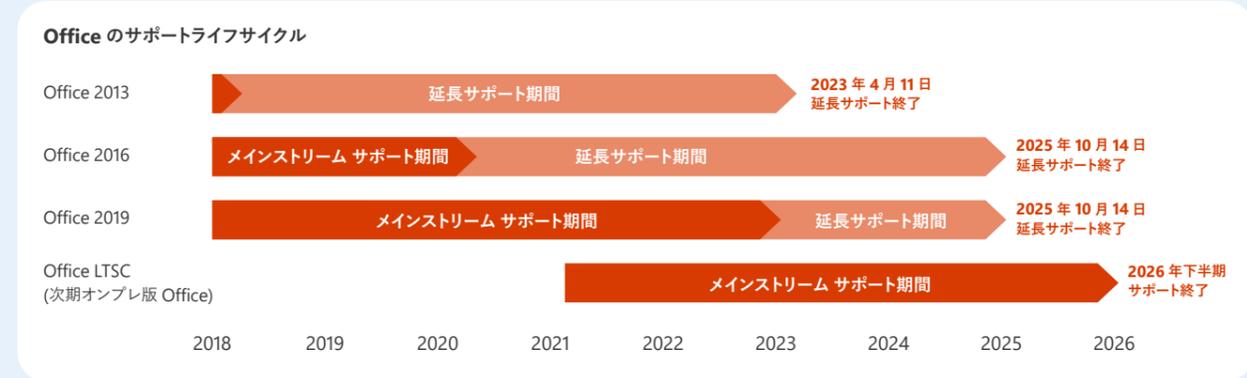
- 端末とライセンスの一覧表を Excel で作って管理していた
- 毎日何十件という迷惑メールが届いていたことによるセキュリティリスク
- 全店舗のセキュリティ強化に向けた、ID/PASS とデバイスの統合的管理

導入効果

- ユーザー単位のライセンス管理による効率化と Office のバージョン管理が不要に
- Exchange Online のフィルタリング機能によって、セキュリティリスクがほぼゼロに
- Azure AD と Intune を組み合わせることによって、デバイスとアカウントの管理を一元化

オンプレミス版、プレインストール版の Office サポート終了後の対応

Office 2013 のサポートは 2023 年 4 月 11 日に、Office 2016 / Office 2019 のサポートは 2025 年 10 月 14 日に、次期 Office (Office LTSC) のサポートは、2026 年下半期に終了します。延長サポートが終了する Office を安心 & スムーズに移行するポイントは「早めの導入」です。標的型メール攻撃、ランサムウェアなど、日々進化を続けるセキュリティ脅威への対策、場所や時間にとらわれずに働ける環境に Microsoft 365 が最適です。



いままでの Office から新しい Office に変わります

これまでご愛顧いただいております、オンプレミス版 Office (Office 2013, Office 2016, Office 2019 など) が次期バージョンから変更になります。Office LTSC (Long Term Servicing Channel) は、特定のシナリオ向けの製品として、限定的な特定の状況[※]を想定して開発されています。企業が業務効率化や生産性を高めて長期的な成長を加速するために、**Microsoft 365** への移行をおすすめします。

製品	いままでの Office		新しい Office
	オンプレミス版 Office 2019	Office LTSC	Microsoft 365
対象	まだクラウドの準備ができていない企業様向け	限定的な特定の状況の企業様向け [※]	最新機能の活用で効率化と生産性の高い働き方を実現されたいお客様向け
サポート期間	製品発売時期から 7 年 (2025 年 10 月 14 日まで)	製品発売時期から 5 年 (2026 年下半期までを予定)	常に最新版に更新されるため常にサポート期間内
インターネット環境	オフライン環境での利用可能	完全オフライン環境 (インターネット接続が規制されたデバイスなど向け)	オフラインでの利用可能 (少なくとも月に 1 回インターネット接続が必要)
バージョン管理	購入タイミングによってバージョンが異なるため管理も面倒	購入タイミングによってバージョンが異なるため管理も面倒	常に最新版に自動で更新されるため、バージョン違いも起らない管理に余計な手間がかからない
費用	導入時一括購入 バージョンアップ時、サポート完了後に大きな買替コストが発生	導入時一括購入 バージョンアップ時、サポート完了後に大きな買替コストが発生	月額料金で利用可能、初期コストを大幅に削減常に最新版で買替コスト不要
推奨利用 Windows 10 更新プログラム サービスチャネル	Windows 10 SAC、もしくは Windows 10 LTSC	Windows 10 LTSC	Windows 10 SAC

※ 何年間も機能アップデートを受けないよう規制されたデバイスや、インターネットに接続されていない工場内のプロセス制御デバイス、一定期間ロックされている長期サービスチャネルが必要な専用システムなどを利用の企業など

Microsoft 365 製品一覧

ビジネスの規模や成長に応じたプランをご提供

あなたのビジネスに最適なプランをお選びいただけます	Remote Work Starter Plan リモートワーク スタータープラン	Microsoft 365 Apps for business (旧 Office 365 Business)	Microsoft 365 Business Basic (旧 Office 365 Business Essentials)	Microsoft 365 Business Standard (旧 Office 365 Business Premium)	Microsoft 365 Business Premium (旧 Microsoft 365 Business)
ユーザー/月	399 円	900 円	540 円	1,360 円	2,180 円
含まれる Office アプリ	(Web 版のみ)	Outlook, Word, Excel, PowerPoint, Access, Publisher (Access, Publisher は Windows PC のみ)	(Web とモバイル版のみ)	Outlook, Word, Excel, PowerPoint, Access, Publisher (Access, Publisher は Windows PC のみ)	Outlook, Word, Excel, PowerPoint, Access, Publisher (Access, Publisher は Windows PC のみ)
含まれる サービス	Teams, OneDrive	OneDrive	Teams, OneDrive, SharePoint, Exchange	Teams, OneDrive, SharePoint, Exchange	Teams, OneDrive, SharePoint, Exchange, Intune, Azure Information Protection
最大ユーザー数	300 人	300 人	300 人	300 人	300 人
Web とモバイル版の Office アプリ					
Word, Excel, PowerPoint, Outlook, OneNote (Web とモバイル版)	(Web 版のみ)	✓	✓	✓	✓
常に最新版の Office アプリを iOS や Android デバイスで使用できます (最大 5 台のスマートフォンと 5 台のタブレット)	(Web 版のみ)	✓	✓	✓	✓
リアルタイム共同編集	✓	✓	✓	✓	✓
メールとタスク管理					
メールのホスティングと 50 GB のメールボックス	(2GB のメールボックスのみ)	-	✓	✓	✓
Microsoft Planner タスクやスケジュール、進捗の管理	-	-	✓	✓	✓
ファイルストレージと共有					
OneDrive 1TB クラウドストレージ	✓	✓	✓	✓	✓
SharePoint ファイル共有やイントラネットサイト構築	✓	-	✓	✓	✓
チームワークとコミュニケーション					
Microsoft Teams コミュニケーションアプリ	✓	-	✓	✓	✓
最大 300 人での Web 会議	✓	-	✓	✓	✓
会議のスケジューリングと開催	✓	-	✓	✓	✓
チームやチャネル内でのファイル共有	✓	-	✓	✓	✓
チャット、会議、アプリなどすべてまとめて Teams からアクセス	✓	-	✓	✓	✓
デスクトップ版の Office アプリ					
常に最新版の Office アプリを Windows または Mac にインストールして使用できます (Access と Publisher は Windows PC のみ)	-	✓	-	✓	✓
Office アプリをユーザー 1 人あたり最大 5 台の Windows PC または Mac にインストールできます	-	✓	-	✓	✓
セキュリティとコンプライアンス					
高度なセキュリティ対策	-	-	-	-	✓



Microsoft 365 に関する最新情報は、
<https://aka.ms/m365smbj> をご覧ください。

● 記載されている、会社名、製品名、ロゴ等は、各社の登録商標または商標です。● 製品の仕様は、予告なく変更することがあります。予めご了承ください。● 使用している画像はイメージです。● 本チラシの内容は 2021 年 5 月現在のものです。

製品に関するお問い合わせは、次のインフォメーションをご利用ください。

- インターネット ホームページ <http://www.microsoft.com/ja-jp/>
- マイクロソフト カスタマー インフォメーションセンター 0120-41-6755 (9:00~17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)
- マイクロソフト ボリューム ライセンス コールセンター 0120-737-565 (9:00~17:30 土日祝日、弊社指定休業日を除きます)

※電話番号のかけ間違いにご注意ください。

ご購入に関するお問い合わせは、マイクロソフト認定パートナーへ。

- マイクロソフト認定パートナー <http://www.microsoft.com/ja-jp/partner/>

日本マイクロソフト株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 2-16-3 品川グランドセントラルタワー